

# 平成26年度 県土整備部環境配慮事例報告書

事業主管課	砂防防災課
実施機関	東部県土整備局(徳島)

## 【事業の概要】

事業の種類	砂防	砂防ダム
事業箇所名	勝浦郡勝浦町中角字豊田	
事業の規模・状況	28 ha	中規模事業 設計段階

## 【事業の目的及び概要】

勝浦川水系前山谷は、勝浦郡勝浦町豊田に位置する土石流危険渓流Ⅰである。保全対象には、人家9戸、避難所である生比奈小学校(収容人員705名)、勝浦町農村婦人の家(収容人員32名)、生比奈保育所、主要地方道徳島上那賀線等がある。近年上流部の荒廃が著しく、出水時には渓床堆積物の流下及び突発的な山腹崩壊による土石流等により下流の人家等に甚大な被害を及ぼす恐れがあるため、早急に対策が必要な箇所である。

## 【検討した環境要素の一覧及びRDBの有無、モニタリングの要否】

大気	環境	水環境	地形・地質等	生物多様性	景観	自然とのふれあい	文化財	廃棄物	温室効果ガス等	RDB種の有無	モニタリングの要否
	○			○							○

## 【特に配慮した環境要素と検討事項】

砂防堰堤設計施工計画時において、環境配慮アドバイザーの意見を聞きながら、施工場所(谷)における生物や植物の希少種調査を行った。調査結果により希少種が発見された場合は、できる限りの配慮を行う予定。特に生物に対して、上下流を分断しないよう堰堤底版の形状をスロープ状、水通し部を透過型(スリット)とし配慮を行う予定。

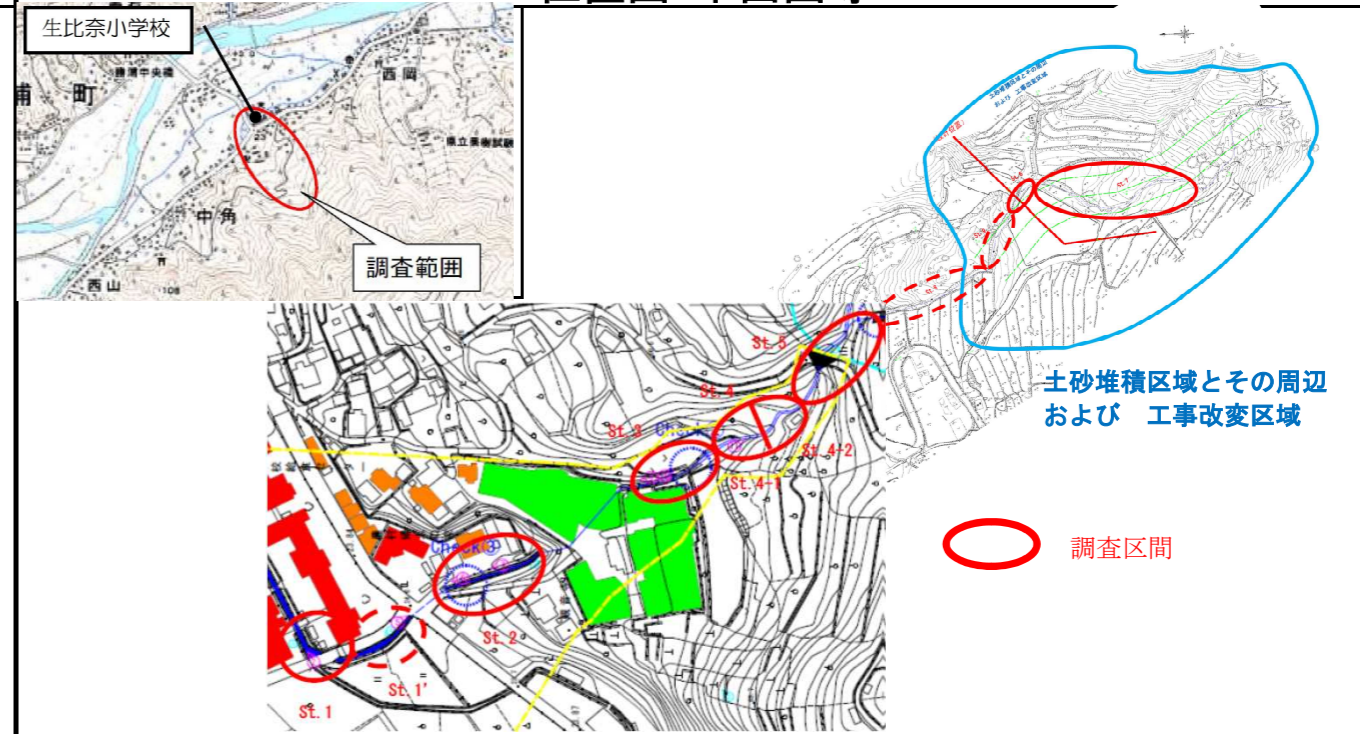
## 【目標に対する達成状況】

秋の調査時においては、希少種は発見されなかった。上下流を堰堤によって分断しないような設計と施工方法を検討。

## 【検討事項に対する評価】

実施者	秋の調査では、希少種は発見されなかったが、春の調査結果により環境配慮アドバイザーの意見を参考にして、環境に配慮していきたい。希少種がない場合でも谷が堰堤によって、上下流が分断されない構造を検討していくが、施工方法についても、できる限り環境に配慮できるような仮設計画・施工計画を考えていきたい。
主管課	
専門家	

## 位置図・平面図等



## 写真、図面等

### 魚類調査

↓電気ショッカー 投網→



### 両生類調査

タゴカエル



### 底生動物調査

↓定性調査 定量調査→



### 植物調査

